

[異常時通報連絡の公表文 (様式1-1)]

伊方発電所における地震の観測について (第2報)

26. 3. 14

原子力安全対策推進監

(内線 2352)

[異常の区分]

国への法律に基づく報告対象事象		有 ・ 無
県の公表区分		[評価レベル -] A ・ B ・ C
外部への放射能の放出・漏えい		有 ・ 無 [漏えい量 -]
異常の概要	発生日時	26年3月14日 2時7分
	発生場所	1号・2号・3号・共用設備 管理区域内 ・ 管理区域外
	種類	・設備の故障、異常 ・地震、人身事故、その他

[異常の内容]

3月14日(金)2時29分、四国電力(株)から、別紙のとおり、伊方発電所の異常に係る通報連絡がありました。その概要は、次のとおりです。

- 3月14日(金)2時7分頃、伊方発電所において以下のとおり地震を感知しましたが、1, 2, 3号機は定期検査中で停止している。
 - ・1号機 56ガル
 - ・2号機 55ガル
 - ・3号機 45ガル
- 念のため、設備の巡視点検を実施しており、結果については後ほど連絡する。
- 地震による環境への放射能の影響はない。

(参考)

周辺の県設置震度計計測値 (水平方向最大加速度)

- ・伊方町湊浦 229.9ガル
- ・伊方町三机 170.7ガル

[その後の状況等]

3月14日(金)6時48分、四国電力(株)から、その後の状況等について、以下のとおり連絡がありました。

- その後、巡視点検を実施し、6時20分、原子炉施設等(建物含む)全ての設備に異常のないことを確認した。
- この地震による環境への放射能の影響はない。

県としては、環境放射線テレメータ装置により、周辺環境放射線等に異常のないことを確認するとともに、原子力センター職員が伊方発電所に立ち入り、現場の状況を確認しております。

(伊方発電所及び周辺の状況)

原子炉の運転状況	1号機	運転中 (出力 %)	・停止中
	2号機	運転中 (出力 %)	・停止中
	3号機	運転中 (出力 %)	・停止中
発電所の排気筒・放水口モニタ値の状況		通常値	・異常値
周辺環境放射線の状況		通常値	・異常値

伊方発電所異常時通報連絡記録票 (第2報)

発信者	伊方発電所 樋山	FAX発信日時	平成26年3月14日 6時48分
受信者		FAX受信日時	平成 年 月 日 時 分
号機(定格出力)	1号機 (56万6千kW) ・ 2号機 (56万6千kW) ・ 3号機 (89万kW)		
発生前の状況	1. 出力 万 kWにて (通常運転・調整運転・出力上昇・出力降下) 中 2. 第 回定期検査中		
発生状況概要	設備のトラブル ・ 人身事故 ・ 火災 ・ その他 (地震)		
	1. 発生時間 3月 14日 2時 07分頃 2. 場 所 伊方1号機 ・ 2号機 ・ 3号機 3. 状 況 3月14日2時07分頃、伊方発電所において以下のとおり地震を感じいたしました。 ・ 1号機： 56ガル ・ 2号機： 55ガル ・ 3号機： 45ガル ※：原子炉補助建屋基礎上的における観測値 4. 非常用炉心冷却系の作動 (なし ・ あり) <div style="text-align: right;">[第1報にて連絡済み]</div> その後、巡視点検を実施し、6時20分、原子炉施設等 (建物含む) の全ての設備に異常のないことを確認しました。 この地震による環境への放射能の影響はありません。		
環境への影響	放射能	外部への放射性物質の放出	(なし ・ あり)
		放射性物質の放出量	(なし ・ 微量 ・ 評価中)
		野外モニタ指示値	(異常なし・微小変化・変化)
	そ の 他		
連絡の理由 (該当番号を○で囲む。複数可)	1. 電気関係報告規則第3条に基づく連絡 2. 実用発電用原子炉の設置、運転に関する規則第134条に基づく連絡 3. 安全協定第11条第2項に基づく連絡 4. その他		
当該機以外の運転状況	1号機 (通常運転・調整運転・出力上昇・出力降下・ 定検停止) 中 2号機 (通常運転・調整運転・出力上昇・出力降下・ 定検停止) 中 3号機 (通常運転・調整運転・出力上昇・出力降下・ 定検停止) 中		
備考			